



1月の学級づくり【中学校版】

新しい年を迎え、新鮮な気持ちでスタートできる1月です。また、最後のまとめの学期として大事な時です。冬休みの不規則な生活習慣を引きずらないように、生活を立て直すことが大切です。生活や授業のルールを再確認し、残り3ヶ月間の、学級としての目標をもちたいものです。

集団・仲間づくりのためのグループゲーム

～コミュニケーション能力の向上を図る～

【読心マスター】

グループで楽しむゲームです。例えば「パンといえよ」というお題を出します。グループのメンバーの心を読んで「せーの」で一斉に応えます。何人合えば何点というように得点制にしても良いでしょう。「食パン・アンパン・あげパン」などいろいろな答えが出てきます。

【一番星、ブラインドスクエア】

輪になったロープをグループ全員で握り、跨いだり潜ったりして一筆書きの星（正方形、正三角形など）を作ります。できたら目隠しをしてトライしてみましょう。

*体育センターのHP（研修講座の様子）に他のゲームも紹介しています。

達成の積み重ねを感じる私の目標

新たな年に目標を立てることは、生徒の成長にとって意味あることです。しかし、目標が明確でなかったり、達成できるか見通せなかったりする場合があります。そこで次のようなことに留意しましょう。

- 1 1年あるいは月ごとの具体目標を記入できるようにする。
- 2 「勉強をがんばる」のようなあいまいな目標の場合は、「発言を3回以上する」など、何をどのようにするかを決めるようにする。
- 3 教室の掲示、ファイルの保存等しながら、自己評価だけでなく、グループ内で目標に近づいたよさを認め合う相互評価を位置付ける。小さくても1つ1つできたという喜びを味わえることが大切です。1年間を見返し、確かに積み上げた自分の歩みを実感できるようにしましょう。

クラスで進めるインフルエンザ予防

学級会でクラスの生活目標を決め、一体となって取り組むことは、予防のために重要であると共に、クラスのまとまりを強めることにもつながります。

取組目標の例

- 1 「せきエチケット」を心がけよう。
- 2 流水、石けんによる手洗いを心がけインフルエンザウィルスを除去しよう。
- 3 加湿器などを使って湿度50%～60%を目指そう。
- 4 十分な休養とバランスのとれた食事を心がけ体の抵抗力を高めよう。
- 5 人ごみや繁華街への外出を控えよう。

保健係が仲間の体調をこまめに観察し、気を配ることは温かな学級づくりにもつながります。

支援が必要な子どもの「つまずき」を支援するポイント

～場面の切り替えが難しい～

「時間の見通しがなく、活動の切り替えが遅くなってしまう生徒」には

活動の流れや手順およびその時間を黒板に書いて示し、見通しをもちやすくしては。

「注意集中の面で偏りがあり、周囲の動きに気付けない生徒」には

「終了3分前カード」などのカードを用い、本人が気付くように視覚的に働きかけてみては。

「手、指先の巧緻性にぎこちなさがあり、作業に手間取る生徒」には

全体より先に個別に声を掛け、次への準備の時間を十分にとってみては。